



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年11月6日 第14号 文責 梶原 圭一



授業で子どもたちを育てる

本校では、「授業で子どもを育てる」ことを目指し、子どもたちが「分かった」「できた」「もっとやってみたい」と思えるような授業づくりに取り組んでおります。2つの授業公開が行われましたので、その概要を紹介します。

1年生算数「たしざん」で、「おにぎりが小さい箱に4個、大きい箱に8個入っています。合わせて何個ありますか。」という、たされる数が5以下の繰り上がりのあるたし算の問題に挑戦しました。数を2つに分ける「さくらんぼ」や、10のまとまりを作る「ソーセージ」を使いながら、たす数とたされる数のどちらを分けても、10のまとまりを作ることが大切だということを導き出していました。日頃から学習のまとめや振り返りをノートに書く取組が進められていますが、短い時間の中で、ノートをまとめている姿に感心しました。また、学習に臨む姿勢がしっかりと身に付いてきており、1年生の成長を感じた授業でした。



5年生算数「面積」の学習で、平行四辺形の面積の求め方を考える学習が行われました。それまでに学習した三角形や長方形、正方形の面積の求め方を基にしながら、平行四辺形に補助線を引いたり、実際にはさみで図を切ったりして問題に取り組んでいました。面白い求め方を紹介する子もいて、その求め方を学級全体で考えることで学びが深まりました。学習のまとめや振り返りは、タブレットPCに記録しながら、次の導入場面で活用し、公式を導く学習につなげていくようです。単に公式を覚えるのではなく、自分で試行錯誤しながら課題を解決する取組は、これからの時代を生き抜いていく子どもたちには、とても重要だと感じた授業でした。

自然となかまを大切に！

10月23日(木)、24日(金)の2日間をかけて、5年生の集団宿泊教室を行いました。自然体験を通して、自然に親しみ、大切に作る気持ちをもつとともに、なかまと協力し自主的に活動し、一人一人が自ら考えながら行動する力を育むことを目的に実施しました。この体験学習を通して学んだ自然を大切に思う心や相手の気持ちを考えながら行動する力を、学校生活で紹介し、他学年にも積極的に広めていってくれることを期待しています。



◆◆平和な世界の創り手となるために◆◆

6年生の総合的な学習の時間で、菊池飛行場ミュージアムの館長を講師としてお迎えし、戦争時の様子や特攻隊、原子爆弾のことなどについて話を聞き、平和の大切さや今の自分にできる事などを考える時間を設けました。講師が時折質問されることに対して、グループで協議したり、考えや感想を発表したりしながら、学びを深めていきました。特に、「自分だったら・・・」という問いから、子どもたち一人一人が自分事として捉えることができていました。修学旅行で、この学びをさらに深めていきます。

